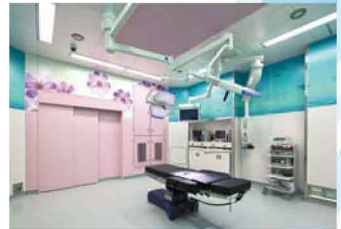


# 小さな傷で治療でき、女性患者も多い そけいヘルニアの腹腔鏡下手術

医療法人 福寿会  
メディカルトピア草加病院

亀井 文

かめい・あや●2004年北海道大学医学部卒。同年手稲溪仁会病院外科。2010年ローマ・サンジョバンニ病院留学、腹腔鏡手術の臨床研修。2012年よりメディカルトピア草加病院外科。2013年東京ヘルニアセンター執行クリニック非常勤医師兼任。メディカルトピア草加病院ではそけいヘルニア外来を開き、診察から手術まで行っている。日本内視鏡外科学会会員。日本外科学会認定外科専門医。全国各地のヘルニア研究会にて特別講演講師を務めるほか、各地の病院にて技術指導を行っている



腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を行うことを念頭に設計された手術室：高度先進設備搭載の手術室は、癒しの空間も演出する



小 ささを極めた傷の手術を短時間で行う

メディカルトピア草加病院は内視鏡を用いた低侵襲治療に特化した病院だ。20年前にドイツから技術を持ち帰った日本の内視鏡外科の先駆者、金平永二院長をはじめとするエキスパートが結集し、手術を行う。都心からのアクセスもよく、日本全国、さらには海外からも手術患者が来る。金平院長は月に1回、内視鏡手術を教える私塾を開いている。そけいヘルニアの治療を担当する亀井文医師はその門下生のひとり。難しいとされる内視鏡下での縫合の技術を継承し、通常1時間以上かかる手術を約40分



▲直径2mmの手術器具は針のように細いため、傷跡は小ささを極める

心 地よい空間での手術  
女性患者も多い

「患者さんに心地よく過ごしていただくことを一番の目標に、2012年グランドオープンした病院の病室や手術室は内装にこだわり、ウッド調の廊下には中庭から明るい光が注ぐ。最先端の腹腔鏡下手術設備を備えた手術室は、花や森林など自然の風景の壁紙となっており、患者が好きなアロマと音楽を選べるなどリラクセスできる雰囲気づくりも配慮されている。

手術は、眠っている間に終わる全身麻酔で行う。患者の要望に応じて短期滞在も可能だ。「ヘルニアが治って楽になったと、患者さんが笑顔になったときが一番嬉しいです。診察から手術まで私が行っています。多くの女性患者さんにも来院していただいています」と亀井医師は話す。

「患者さんに心地よく過ごして

ホスピタリティー溢れる環境を重視したデザインコンセプト



- ①カフェのあるエントランス。
- ②プレミアムフロアには各種個室(室料差額あり)も用意

## INFORMATION

**診療科目** 外科、内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、泌尿器科、皮膚科、小児科、婦人科、女性内科、女性泌尿器科

**診療受付時間** 月～土 9:00～12:45 / 14:00～17:15  
亀井医師の診療 月曜日PM、土曜日AM

**休診日** 日・祝

〒340-0028  
埼玉県草加市谷塚1-11-18  
TEL.048-928-3111  
FAX.048-928-1522  
http://www.mtopia.jp/



取材/斉藤雅幸